

7 取り扱い時のお願い

7-1 取り扱い時の注意

アイジーヴァンドは壁材です。壁以外の部位に使用しないでください。

⚠ 警告：死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

1. 強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。風にあおられる、雨にあおられる、雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性があります。
2. 高所作業は関係法規に従ってください。事故の可能性があります。

⚠ 注意：取り扱いをあやまると障害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

●商品の納入

- ・アイジーヴァンドは、現場車上渡しです。クレーンなどの荷下ろし用機械はお客様にて手配してください。

●搬入

- ・荷下ろしの際は、ナイロンスリングを使用し、絞り防止材や保護材でパネル本体の破損を防止してください。
- ・長尺品は吊り具を用意し、3点吊りとしてください。

●保管方法

- ・不整な地面に置かないでください。
- ・屋外保管の場合、リン木に載せ、養生シートなどで雨水が入らないようにしてください。また、シートを掛けたままの状態でも長期間（7日以上）放置しないでください。
- ・雨水が入ってしまった場合は、速やかに除去し、乾燥させてください。放置するとさびが発生しやすくなります。

●商品の取り扱いについて

- ・荷崩れには十分に注意してください。
- ・商品を引きずらないでください。塗膜面にキズが付きます。
- ・梱包資材のフィルムなどは、開梱したら放置せず、速やかに処分してください。
- ・商品の上に人が乗ったり、重量物を載せたりしないでください。
- ・商品を置くときには衝撃を与えないでください。

●運搬

- ・パネル本体の平抱えは禁止です。横抱えで運搬してください。
- ・パネル端部の薄肉部を持たないでください。破損するおそれがあります。

●取り付け役物（部材）について

- ・当社純正品または、当社推奨品を使用してください。
- ・指定外の部材の使用、誤った施工方法での不具合については責任を負いかねます。

●施工

- ・作業時は、ゴム付き手袋や保護眼鏡などの適切な保護具を着用してください。
- ・現場加工時、鋼板の切断面に生じたバリは、けがをする原因となりますので取り除いてください。
- ・パネル本体の取り付けは、止水性を確保するため、働き幅による割り付けを守ってください。
- ・加熱、排気などの箇所での取扱いは、防火のため、めがね石など有効な部材を使用してください。
- ・タッチアップペイント（補修用塗料）などは、使用方法をご確認の上、正しく使用してください。
- ・電動工具など、工具使用の際は、各工具の取り扱い説明書に従って正しく使用してください。

- ・包装材、残材などは、産業廃棄物として処分してください。
- ・アイジーヴァンドを安全に使用・取り扱いをするため、安全データシート（SDS）を事前に確認してください。SDSは弊社ホームページに掲載しております。

●保護フィルムについて

- ・保護フィルムが貼り付けてある商品は、長期間放置すると剥がれにくくなりますので、施工後速やかに除去してください。
- ・静電気が帯電しているおそれがありますので、取り扱い時には十分に注意してください。

●切粉の除去

- ・商品の切り欠き、取り付け時など、切粉が発生します。放置するとさびが発生しますので、ハケなどでその都度除去してください。

●シーリングについて

- ・仕上げシーリングは、専門業者に依頼してください。
- ・推奨材質は、2成分形変成シリコン系です。推奨銘柄は、P141をご覧ください。
- ・捨てシーリングとなるものは、パネル取り付け業者の施工となります。
- ・切断面はしん材が露出するため、シーリングが接着しません。
- ・パネル本体を現場切断するなどしてシーリング納めとする箇所は、必ず箱折加工（表面鋼板端部の折り曲げ加工）を10mm以上施してください。
- ・シーリング施行中のパネル熱伸縮で、シーリングにシワや剥離が発生する場合があります。パネル表面の温度変化が少ない天候や時間帯にシーリング施工してください。

●ウレタン吹き付け

- ・パネル本体に現場発泡ウレタンなどを直接吹き付けすると、吹き付けたウレタンなどの硬化収縮の影響でパネル表面に凹凸が発生する場合がありますので注意してください。

●補修について

- ・タッチアップペイントは、ごく狭い範囲の軽微なキズの補修に使用します。パネル本体や部材の変形を伴うキズや広範囲にわたる塗装には使用しないでください。
- ・塗装場所の気温が著しく低い場合（5℃以下）や、降雨及び降雪があり、被塗面が濡れる場合は補修を避けてください。
- ・タッチアップペイントは、使用前によく攪拌してから使用してください。カタカタという音がしてから30秒以上振り、よく攪拌してください。
- ・タッチアップペイントは常乾タイプの塗料です。商品とは塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装品の表面鋼板をタッチアップペイントで補修する場合は目荒らしが必要です。補修するすりキズ部分に、ナイロン不織布を使用して目荒らしをしてください。目荒らしを行わない場合、タッチアップペイントと表面鋼板の塗膜に密着性が得られませんので注意してください。
- ・補修した部分に水が関与すると白化や、艶の低下の原因になりますので作業の際は以下の注意事項を確認してください。
 1. 塗装後、降雨、降雪、結露が予想される場合や高湿度時の塗装は避けてください。
 2. 気温が低くなると乾燥が極端にしにくくなります。夕方まで表面が乾くように作業時間を調整してください。急ぎの作業の際は、ドライヤーなどで補修部分を完全に乾燥させてください。
- ・海岸地帯や工業地帯など腐食のおそれのある地域においては、切断端面の補修をお勧めします。
- ・補修塗装を行う際は、水または中性洗剤（1～2%水溶液）で、表面の汚れや油分などを除去し、十分な水洗いを行い、乾いた布で水分をよく拭き取ってから行ってください。
- ・商品表面のキズの補修には、必ず純正のタッチアップペイントを用い、製品安全データシート（SDS）に従って正しく使用してください。

- ・事前に商品の端材などで試し塗りをし、色調の確認を行ってください。
- ・広範囲にわたったすりキズや、鋼板が変形してしまった損傷の場合は、パネル本体の交換を実施してください。やむを得ず広範囲にわたる補修塗装を行う際は、専門の塗装業者に依頼してください。
- ・現場塗装用の塗料は、現場で手配願います。

●汚れの除去方法

- ・パネル本体表面に汚れが付着したときは、以下の手順でクリーニングしてください。
 1. 柔らかい布などでから拭きしてください。
 2. 1.で汚れが落ちないとき、水または温水（ぬるま湯程度）で洗浄してください。
 3. 2.で汚れが落ちないとき、中性洗剤（1～2%水溶液）で洗浄してください。
 4. 3.で汚れが落ちないとき、パネル本体の交換を実施してください。

●美しさを長持ちさせるために（定期的なお手入れ）

- ・大気中には、パネル表面基材の腐食の原因となる様々な要因が含まれています。酸性度の高い水分との接触や、付着水分の蒸発による酸性成分の濃縮など、腐食の原因物質と表面基材の接触により表面塗膜の耐久性の低下を招き、さびの発生に至る場合があります。このような現象の発生を防ぐために定期的なお手入れを実施してください。
- ・壁の汚れの状況に応じて、パネル表面を洗浄してください。特に、海岸地帯や工業地帯では洗浄回数を増やしてください。
- ・軒下など、雨水で塵汚れなどが洗われない部分は、塵などが原因で腐食が発生する場合がありますので、入念な洗浄をお勧めします。
- ・表面塗色については、適宜点検してください。変色が著しく、白亜化現象が現れた時には、再塗装を実施してください。
- ・強くこすったり、硬いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。
- ・クレンザーなど研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・シンナーなどは塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・中性洗剤を使用した後は、十分な水洗いを行い、薬剤を洗い流してください。
- ・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・高圧洗浄機は、パネルの変形・漏水などの原因となりますので使用しないでください。

●その他

- ・点検・補修・洗浄などの際は、パネル本体表面にキズが付かないよう十分に注意してください。特にハシゴなどをパネル本体表面に直接立て掛けると、キズや変形の原因となります。必ず当て板などで保護してください。
- ・日射による熱の影響で、朝・夕の温度変化時に、表面鋼板の伸縮により、かん合部などから音が発生する場合があります。
- ・光の具合によって、表面の歪みや下地の跡が強調される場合があります。

お願い

- 本設計資料に掲載している商品仕様、各種データなどを予告なく変更する場合があります。最新の情報につきましては弊社担当営業までお問い合わせください。

7-2 外壁を美しく保つために

■維持管理の目的

大気中には外壁材の表面基材の腐食の原因となるさまざまな要因が含まれています。自動車の排気ガス、工場からの排煙、海岸地帯の海塩粒子、凍結防止剤など、多種多様な要因があります。近年、環境公害のひとつとして酸性雨問題があります。酸性度の強い水分との接触や付着水分の蒸発、濃縮により、表面塗膜の耐久性の低下やさびの発生に至る場合があります。建築物の長寿命化を実現するためのひとつとして、外壁材の適切なメンテナンスが重要であり、外壁の性能を維持するために定期的な維持管理をお勧めします。

●メンテナンススケジュール（モデルケース）

こまめにお手入れをし、傷みを早めに補修することで外壁を長持ちさせ、建物を守ります。

施工後年数		5年	10年	15年	20年	25年	30年～
1. クリーニング		年数回					
2. 日常点検		年1回程度					
3. 定期点検		■	■	■	■	■	■
メン テ ナ ン ス	防汚機能付き遮熱性フッ素樹脂塗装 耐火ヴァンドRZ 断熱ヴァンドNZ					■	■
	ポリエステル樹脂塗装 耐火ヴァンドRZ 断熱ヴァンドNZ					■	■
	シーリング		■	■	■	■	■

…塗り替え※1
 …張り替え※2
 …部分補修・打ち替え

塗り替えは、表面状態を確認の上で判断してください。変色が著しく、白亜化が現れた状態が塗り替え時期とみなせます。

【注意 !!】

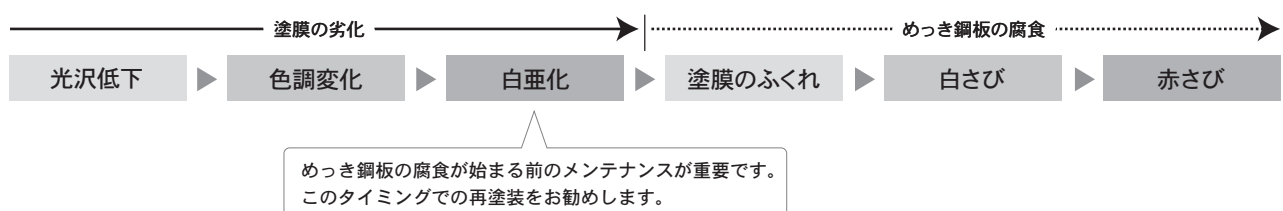
- ・メンテナンススケジュールは目安であり、メンテナンス時期を保証するものではありません。地域や環境により表面劣化の進行状況が異なります。
- ・メンテナンス時期は、本体平面部について適用するものであり、加工部、端部及び部材は除きます。

※1 2回目以降の塗り替え時期は塗料タイプにより異なります。使用される環境、耐用年数などを検討の上、専門業者様とご相談ください。

※2 張り替え時期については、専門業者様に建物全体の躯体状況を確認の上、総合的に判断してください。

■塗膜の耐久性について

塗膜は、太陽光線、雨（水）、大気中の酸素、腐食性因子（塩素イオン、酸性イオンなど）により劣化します。その過程において塗膜の白亜化が発生します。白亜化（チョーキング）とは、塗膜表面の樹脂が無くなり顔料が表面に粉状に現れ、触ると手に付く現象をいいます。白亜化の後に、めっき鋼板の腐食が始まります。劣化の経時変化は下記のように進みます。



■ クリーニング

外壁を美しく保つために、年に数回の水洗いをしてください。

アイジーヴァンドは、めっき鋼板の中でも耐久性に優れたガルバリウム鋼板を使用しております。しかしながら、汚染物質の長期付着により、数年で表面にシミや白さび・黒さびが発生した例が報告されております。これらの現象は外壁材の機能上支障をきたすものではありませんが、外観が損なわれるため表面塗装の塗り替え時期を早めてしまいます。外壁表面に付着している大半の汚染物質は水洗いで落とすことができますので、立地条件に合わせた数回のクリーニングを行う事で、美しい外観を長期間保つことが可能となります。

● クリーニング回数の目安



大気汚染の状況に応じて、さらに年間の洗浄回数を増やすことをお勧めします。

● クリーニング方法

- 1 水洗いにより、塵や汚れを洗い落とし、柔らかいスポンジや布で十分に水洗いしてください。
- 2 水洗いで取れない汚れなどは、中性洗剤(1~2%の水溶液)を使用し、最後に水洗いしてください。

【注意 !!】

- ・強くこすったり、固いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。
- ・クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・シンナーなどの有機溶剤やタイル洗浄剤などは塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・中性洗剤を使用した後は十分な水洗いを行い薬剤を洗い流してください。
- ・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・高圧洗浄機などは、外壁材の変形、漏水の原因となりますので使用しないでください。



● クリーニングのポイント

塗膜の劣化や鋼板の腐食は、塵やほこり、酸性雨や酸性雪に含まれる自然からの汚染物質と、車や給湯器・暖房機などの排気・燃焼ガスによる汚染物質が、雨や水蒸気などにより外壁に滞留して進行します。よって、雨水が当たりにくく汚染物質が流れにくい部分や過度に汚れがひどい部分(下記参照)を重点的に洗浄すると効果的です。

重点洗浄箇所		
①軒	②庇の下	③アルコーブなどの内部に入り込んだ所
④窓脇、窓下など	⑤フード、換気口などの下	⑥外壁下端部

■ 日常点検

目視にて確認できる範囲で、年1回程度を目安にお施主様ご自身で行ってください。

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 本体の点検 | 商品本体にキズ、へこみ、浮きなどがないか目視で点検してください。 |
| 部材の点検 | 部材にキズ、へこみ、浮きなどがないか目視で点検してください。 |
| 塗膜の点検 | 塗装表面に白亜化、変色、さびなどが発生していないか目視で点検してください。 |
| シーリングの点検 | シーリングに剥離、亀裂などが発生していないか目視で点検してください。 |

- ・地震や台風の後には随時外装材の点検を行ってください。
- ・気になる不具合を発見した場合は、早めに施工店様にご相談の上、専門業者様に相談してください。(費用はお施主様負担となります。)

■ 定期点検

5年に1回を目安に専門業者様による点検を実施するようお願いします。
(費用はお施主様負担となります。)

点検項目は、日常点検の項目を基本としたものになります。

- | | |
|------------------------|--|
| 本体、部材にキズ、へこみ、浮きを確認した場合 | ▶ 補修または、交換を行ってください。 |
| 変色、褪色を確認した場合 | ▶ 外壁材としての機能上支障はありませんが、美観の向上を図るためには再塗装を行ってください。 |
| 白さび、黒さびの発生を確認した場合 | ▶ さびを放置しますと、さびが進行して穴あきの原因となりますので、さびの部分を取り除いてから再塗装してください。 |
| シーリングに剥離、亀裂を確認した場合 | ▶ シーリングの部分補修または、打ち替えを行ってください。そのまま放置しますと、隙間より雨水が侵入するおそれがあります。 |

安全に関する注意

- ・お施主様ご自身で高所作業を伴う点検やお手入れは絶対に行わないでください。落下事故やけがの原因となります。
- ・点検は、外壁を目視で確認できる範囲にとどめてください。高所作業の場合は、専門業者様に相談してください。
- ・再塗装などの補修工事はお施主様ご自身では絶対に行わないでください。専門業者様に相談してください。
- ・点検、補修、洗浄などの際はパネル本体表面にキズが付かないよう十分に注意してください。特にハシゴなどをパネル本体表面に直接立て掛けると、キズや変形の原因となります。必ず当て板などで保護してください。
- ・雨などで濡れた屋根の上には絶対に乗らないでください。落下事故やけがの原因となります。

次のような場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- ・施工店様による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者の維持管理の不注意・装置の取り付け・改修・改築により不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者または第三者の故意・過失などにより不具合が生じた場合。
- ・天変地異・周囲環境・大気汚染・塩害などの特殊環境下で不具合が生じた場合。
- ・通常の経年変化による変色・汚れなどが生じた場合。
- ・建物の構造体に起因した変形・変位が原因で不具合が生じた場合。
- ・シーリング部及び、現場塗装により不具合が生じた場合。
- ・本体、及び部材に付着した切屑・加工屑・落ち葉・動物の排泄物・粉塵などが原因で不具合が生じた場合。
- ・水が滞留する部分の塗膜損傷及び電食作用が原因で不具合が生じた場合。
- ・くぎ部のさびまたはもらいさび、及びカビによる汚染などが生じた場合。
- ・建築基準法及び、関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- ・本来の目的以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。



アイジー工業株式会社

本社	〒999-3716	山形県東根市蟹沢上縄目1816-12	TEL. 0237-43-1810	FAX. 0237-41-1810
東京営業所	〒101-0065	東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル6F	TEL. 03-3556-0341	FAX. 03-3262-3180
札幌営業所	〒003-0026	北海道札幌市白石区本通19丁目南2-7 食糧ビル5F	TEL. 011-863-0303	FAX. 011-860-2084
盛岡営業所	〒020-0022	岩手県盛岡市大通3-3-10 七十七日生盛岡ビル7F	TEL. 019-605-8050	FAX. 019-605-8051
仙台営業所	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-12 L.Biz仙台5F	TEL. 022-292-5405	FAX. 022-292-5406
北関東営業所	〒330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町4-150-1 カネゲンビル6F	TEL. 048-658-1600	FAX. 048-658-1602
新潟営業所	〒950-0912	新潟県新潟市中央区南笹口1-1-54 日生南笹口ビル6F	TEL. 025-240-6718	FAX. 025-240-6719
富山営業所	〒930-0004	富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル3F	TEL. 076-443-8621	FAX. 076-443-8622
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内1-8-24 綿常第5ビル4F	TEL. 052-218-7885	FAX. 052-218-7886
大阪営業所	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町9-1 EDGE江坂11F	TEL. 06-6310-9076	FAX. 06-6310-9077
福岡営業所	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル2F	TEL. 092-474-5564	FAX. 092-474-5574

この設計資料に掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。
商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

www.igkogyo.co.jp

